

## 生活自立・仕事相談センターの利用増加

生活自立・仕事相談センター「わんすてっぷ」は、失業や病気、ひきこもりなど、さまざまな理由で生活に困っている人を支援し、自立につながるサポートを行っている施設です。活動の内容や利用の方法などを紹介します。

### 面談で問題点整理

生活自立・仕事相談センター「わんすてっぷ」の窓口には「経済的困窮」「就労相談」「家族関係の悩み」「住居が不安定」など、多岐にわたる相談が日々寄せられ、新規相談件数は例年3000件程で

す。コロナ禍が大きく影響し、昨年度の新規相談は5000件以上に上りました。主任相談員の池下英理子さんに

よると、休業による経済的困窮の相談や「住むところが無くなりどうすればいいか」といった相談が増加しているそうです。

まず、担当スタッフが面談を行い、話を聞きながら課題を整理します。一緒に目標を設定し、生活や就労の両面をサポートするプログラムを実施し、他の支援団体や弁護士ら専門家と連携することもあります。センター長の

平井知則さんは「相談の中で信頼関係をつくるのがとても大切。関係をつくりつつ、プランを立てて伴走していく支援がセンターの役割です」と説明します。

### 資金計画サポート

難な場合は、自宅や希望の場所へスタッフが向いて面談に応じる訪問支援（アウトリーチ支援）を行っています。生活保護申請や税金・保険料の減免申請などの手続きが不安な人への同行支援もしています。

そうです。

## コロナ禍で経済的困窮が拡大

## 生活の再建一緒に考える

日々のお金のやりくりに関する困り事の相談を受けているのは、わんすてっぷ内にある「仙台市家計相談プラザ出張窓口」です。家計改善支援員の大友康司郎さんは「お金が無くて困っている方だけでなく、お金があっても使い方に課題のある方は少なくない」と説明。一定の収入はあるのに、公共料金や家賃、税金を滞納してしまっていたり、借金したりで収支がマイナスになってしまっている状況を整理して、収入と支出の計画を立てられるように支援していきます。1年間の計画など長期間の人生設計を念頭に置いた資金計画のサポートを行う場合もあるそうです。



スタッフが相談者の悩みにきめ細かく対応する。訪問相談にも応じる

### 仙台市生活自立・仕事相談センター「わんすてっぷ」

まずは電話、メール、FAXで相談を。WEBサイトの専用フォームからも相談できます。

- 所=青葉区二日町6-6  
シャングール青葉2階
- 営=9:00~18:00  
(予約受付9:00~16:00)
- 休=土・日曜、祝日
- 問=TEL022-395-8865、  
FAX022-395-6268  
Eメールinfo-cw@personal-support.org

<http://www.personal-support.org/onestep/>

